

第6回 航空・海上（合同）更改専門部会 議事要旨

1. 日 時：平成28年2月4日（木） 15：30～17：00

2. 場 所：川崎市産業振興会館 1階ホール（神奈川県川崎市幸区堀川町66番地20）

3. 出席者：別紙のとおり

4. 議事の概要

航空及び海上更改専門部会の部会長として、東京税関松重総務部長が選出された後、「第6次輸出入・港湾関連情報処理システム（NACCS）詳細仕様書最終報告（案）」及び「第6次NACCS導入スケジュール」について議事が行われ、いずれも了承された。

（1）部会長選出

- ・航空及び海上更改専門部会の部会長に、東京税関松重総務部長が選出された。

（2）取締役挨拶

- ・NACCSセンター江上取締役より、更改専門部会開催にあたり挨拶が行われた。

（3）「第6次 輸出入・港湾関連情報処理システム（NACCS）詳細仕様最終報告（案）」について

- ・「第6次 輸出入・港湾関連情報処理システム（NACCS）詳細仕様最終報告（案）」について説明が行われ、当該最終報告（案）について了承された。

（4）「第6次NACCS導入スケジュール」について

- 「第6次NACCS導入スケジュール」について説明が行われ、満場一致で了承された。

5. 意見・要望等の概要

◆ 「第6次 輸出入・港湾関連情報処理システム（NACCS）詳細仕様最終報告（案）」について

- 要約版資料7ページの（1）海上物流フローの見直し（最適化）①の「B/L作成系と通関係の2つの流れに大別」とあるが、現場では、例えば、荷主からのパッキングリスト等の貨物情報を中心として業務を行うことが重要である。これら情報を取り込んで後続業務に活かしていけるようなことも考慮する必要があると考えているが、システムではどのようにカバーされているのか。（委員）

⇒ 海上の貨物管理について、業務フローとしてはここに記載のとおりB/L作成系と

通関系とに流れを大別するが、システムの中における貨物情報については、従来どおり一元的に管理するものであり、荷主の情報を最上流とする形を明確にするものである。ご意見いただいたパッキングリスト情報の関係等に関しても、NACCSの貨物管理全体の中で考慮すべき問題である。今回の更改で整理した物流フローに基づく業務処理の状況等を見ながら、物流全体の貨物管理の在り方を含め「物流情報プラットフォームの充実」という観点から今後も議論を行っていくものと考えている。(事務局)

⇒ 海貨業様、荷主様、NVOCC様等、全ての業界の方に検討に参加いただいたのは今回が初めてである。特に海上システムの業務フローは複雑で利用される方によって様々な業務実態があり、今回は改めて整理を行ったものと考えている。皆様に利用していただき、その中で今後も議論が出来れば良いと考えている。第6次NACCSでは骨格が出来たと考えるので、ここを出発点としてご意見・ご要望があれば、今後議論していきたいと考える。(事務局)

○ 要約版資料 7 ページの (3) 港湾手続きにおけるEDI化の推進①の「危険物明細書作成業務」について、ワーキンググループの中でも意見を申し上げたが、危険品の取り扱いについては「事前連絡票」もある。これについてはシステム化に着手出来ないという判断となったが、第7次NACCSに向けて引き続き課題として検討は進められるのか。(委員)

⇒ 事前連絡票のシステム化については、収入印紙の貼付等の課題があり、EDI化を実現するためにはそれらの課題を解決するための調整が必要となる。第6次NACCSにおいては、危険物明細書作成業務で入力した情報を事前連絡票に呼び出すことを可能とする機能は提供することとしており、当面は、多くの関係者に当業務を利用していただいた上で、ご意見・ご要望があれば引き続き議論はしたいと考えている。(事務局)

○ 要約版資料 6 ページの (3) 行政手続きシステムとしての機能拡充、的確な制度改正への対応①新たな国の施策等への対応の「輸出入申告官署の自由化」について、航空のワーキンググループでも意見を申し上げたが、輸出入申告官署の自由化の法改正は現状どのような状況かご教示いただきたい。内容次第によっては自社システムにおけるユーザーの管理や通関士IDの管理に影響してくるので、どのタイミングで詳細が出てくるのか、提示出来る範囲でご教示いただきたい。(委員)

⇒ 輸出入申告官署の自由化について、今期国会において法案を審議してもらうように作業を進めているところであるが、現時点では、まだ法案は国会に提出されていない。提出された場合には、財務省ホームページで閲覧可能となるので、ご確認いただきたい。なお、今後税関において、改正内容等についての説明会が開催されるものと思われる。(関税局)

以上